

第2次白山市総合計画 2017～2026

第3部 重点プロジェクト

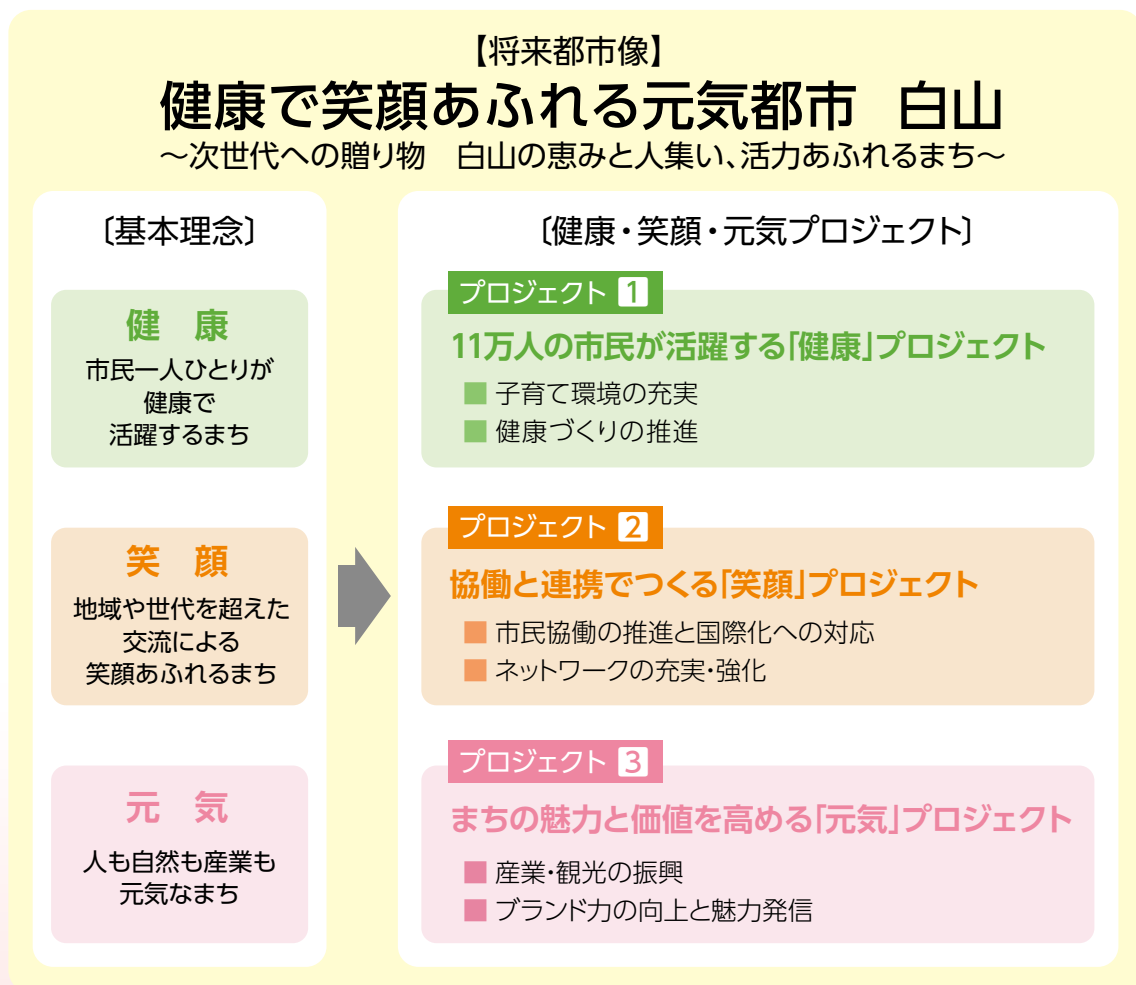
健康・笑顔・元気プロジェクト

● 重点プロジェクト

健康・笑顔・元気プロジェクト

第2次白山市総合計画では、今後の10年先を見据えた視点から、少子高齢化や人口減少に対応し、未来に明るく、夢と希望にあふれた、活力あるまちを目指すため、基本計画の各章に掲げる各種施策を推進するほか、各章を横断した重点的な施策を展開することにより、将来都市像である「健康で笑顔あふれる元気都市 白山 ～次世代への贈り物 白山の恵みと人集い、活力あふれるまち～」を実現させるため、本計画の基本理念である「健康」「笑顔」「元気」の視点から、次の3つのプロジェクトを設定します。

このプロジェクトについては、平成27年度に実施した市民1万人アンケートの調査結果や市民会議、まちづくり会議などを通していただいた様々な市民の声を反映するとともに、将来都市像の実現に向けて実施する様々な施策の中でも、優先度の高い取り組みとして位置づけるものです。



健康・笑顔・元気プロジェクト ①

11万人の市民が活躍する「健康」プロジェクト

将来的に人口減少や少子高齢化が進む中にもあっても、人口や都市の活力を維持するためには、市民一人ひとりが、心も体も健康で、生涯にわたり活躍できる環境をつくるのが大切です。

そのために、より多くの市民が、住み慣れた地域で安心して住み続けられる都市を目指し、子どもを産み育てられる環境を充実させる取り組みを推進するとともに、市民がいきいきと、生涯活躍できる心と体の健康づくりをさらに進める取り組みを推進します。

【数値目標 H38(2026年度)】

- ★ 総人口
109,287人 → 109,000人
(H27)
- ★ 合計特殊出生率
1.49 → 1.70
(H26)
- ★ 人口の社会増減数
▲44人/年 → +140人/年
(H23-27平均) (H34-38平均)

子育て環境の充実

子どもたちは、次代のまちづくりを担うかけがえのない存在であり、この子どもたちを安心して産み育てることができる環境づくりが大切です。

そのために、保育環境の充実や夜間・休日小児医療の診療体制の充実のほか、仕事と子育ての両立ができる環境づくりを進めるなど、結婚・妊娠・出産・育児における切れ目のない支援に積極的に取り組みます。

また、若者の地元就職や移住・定住を支援する仕組みやきっかけづくりに積極的に取り組みます。

施策の概要	章-節
● 夜間・休日小児医療の診療体制の構築・充実	1-2-1
● 妊娠出産子育て期の切れ目のない支援体制の構築	
● 放課後児童クラブ・児童館・児童センターの充実	1-2-2
● 「子どもの権利」の啓発	2-2-3
● ワーク・ライフ・バランスの推進	3-1-3
● 新たな住宅取得への支援	4-2-1
● 企業誘致の促進	5-2-1
● 労働環境向上への支援	5-3-1

11万人の市民が活躍する「健康」プロジェクト

健康づくりの推進

本市の活力を維持するためには、誰もが住み慣れた地域で、安心して健康に暮らし続けられることが大切です。

そのために、適切な生活習慣の確立や健康寿命の延伸に向け、健康を維持するための環境づくりに積極的に取り組みます。

また、交流や学びの場を通じて、地域のつながりを深め、互いに思いやりの気持ちを育みながら、市民が地域や社会で活躍できる環境づくりに積極的に取り組みます。

施策の概要	章-節
<ul style="list-style-type: none"> ● 誰もが支え合う地域づくりの推進 ● 交流の場の提供 	1-1-1
<ul style="list-style-type: none"> ● 介護予防の推進 ● 在宅医療と介護連携の推進 	1-3-1
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者の社会参加の促進 ● 合理的配慮の提供の推進 	1-3-2
<ul style="list-style-type: none"> ● 発達相談の充実 	1-3-3
<ul style="list-style-type: none"> ● 生活習慣病の発症及び重症化予防 ● 健康生活支援企業と連携した健康づくりの推進 	1-4-1
<ul style="list-style-type: none"> ● 医療と介護が一体的に提供できる基盤の強化 ● 地域医療支援病院機能の充実 	1-4-2
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民ニーズに即した学習機会の提供 	2-2-1
<ul style="list-style-type: none"> ● 健康・体力づくりの推進 	2-2-2



健康・笑顔・元気プロジェクト 2

協働と連携でつくる「笑顔」プロジェクト

市民が、白山市に誇りを持ち、互いに尊重し合い、地域や世代を超えた協働と連携によるまちづくりが大切です。

そのために、郷土を理解し、愛着と誇りを持つ心を育む取り組みを推進するとともに、様々な課題を解決し、活力ある地域を維持できるように、人と人、地域と地域が互いに支え合う協働と連携のまちづくりを推進します。

【数値目標 H38(2026年度)】

★ 世代間・地域間交流事業

参加者数

9,195人/年 → 10,000人/年
(H27)

★ 大学との連携事業数

37件/年 → 55件/年
(H27)

市民協働の推進と国際化への対応

まちづくりの主役である市民一人ひとりが、それぞれの個性を發揮し、協力し合いながら、よりよい地域づくりのために活躍できる環境をつくるのが大切です。

そのために、地域の課題を解決できるように、市民相互の交流を深めつつ、市民と行政との協働をさらに進めるための体制や仕組みづくりを進めるとともに、地域の伝統行事や文化活動に積極的に参加できる環境づくりに取り組みます。

また、進展する国際化に対応するため、小中学校においての英語教育の充実を図るとともに、市民と外国人が交流しやすい環境づくりに積極的に取り組みます。

施策の概要	章-節
● 外国語指導助手の配置	2-1-1
● 地域を支える人材・団体の育成 ● ふるさと学習事業の提供	3-1-1
● 新たなまちづくりに向けた取り組みの推進 ● ボランティア意識の啓発と参加の促進	3-1-2
● 自主防災組織体制の強化	4-3-2
● インバウンド事業の推進	6-1-3
● 市民のグローバル化への対応 ● 外国人住民の地域参画の推進	6-3-1

協働・連携でつくる「笑顔」プロジェクト

ネットワークの充実・強化

社会の変化に的確に対応しつつ、様々な課題を解決し、活力ある地域を維持し発展させるためには、それぞれの強みを活かした、既存の枠にとられない連携を図ることが大切です。

そのために、行政サービスの効率化と向上に向けた周辺自治体との広域連携を推進するほか、多様な連携による市民生活の充実や交流の促進に向け、産学官金や各種団体間の連携強化に積極的に取り組みます。

また、様々な連携を行うために必要な公共交通や道路網の整備促進のほか、各種災害への対策について、積極的に取り組みます。

施策の概要	章-節
● 地域医療連携ネットワークの強化と充実	1-4-2
● 二次交通網の利用促進	4-1-1
● 加賀海浜道路（加賀海浜産業道路）の整備促進 ● 金沢外環状道路（海側幹線）の整備促進	4-1-2
● 地域防災計画の充実	4-3-1
● 産学官金の連携	5-2-2
● 広域圏での観光商品の開発	6-1-2
● 近隣自治体との連携した事業の実施	6-1-3
● 連携中枢都市圏における連携推進	7-1-1



健康・笑顔・元気プロジェクト 3

まちの魅力と価値を高める「元気」プロジェクト

本市には、白山、手取川、日本海に至る豊かな自然に育まれた歴史、伝統、文化、産業、市民活動など、他の地域にはない独自の魅力があり、これらをさらに磨き、育むことで、地域の「価値」を高め、より広くPRすることが大切です。

そのために、本市にある多様な資源を最大限に活かし、農林水産業や商工業、観光などの強化を図るとともに、自然、歴史、文化などのブランド力の向上を図る取り組みを推進します。

【数値目標 H38(2026年度)】

★ 市内従業者数
53,673人 → 56,000人
(H26)

★ 観光入込客数
518万人/年 → 560万人/年
(H27)

〔うち市内宿泊者数〕
247,074人/年(H27)
→ 269,000人/年

産業・観光の振興

広範な市域を有する本市には、様々な自然の恩恵を受けた農林水産資源や製造業をはじめとした県内有数の商工業が集積しており、今後これら各産業のさらなる振興を図ることが大切です。

そのために、白山の恵みである豊富な農林水産資源を活かした産業の振興を推進し、担い手の確保や地産地消の推進等による強い農林水産業づくりに積極的に取り組みます。

また、多様で付加価値の高い、新たな産業の創出のため、企業誘致の促進や創業への支援等の施策に取り組みます。

さらに、観光客が本市の様々な魅力に触れ、交流人口の増加につながるよう、効果的に情報を発信する機能を充実させるなどの施策に積極的に取り組みます。

施策の概要	章-節
● 地場農産物販売施設（道の駅）の整備・充実 ● 森林整備の推進	5-1-1
● 地元製品の消費拡大の推進	5-1-3
● 企業誘致の促進 ● 創業への支援	5-2-1
● 産業観光の拠点充実	6-1-1
● 白山の魅力の発信 ● 鉄道のまちの発信 ● 着地型旅行商品の開発	6-1-2

まちの魅力と価値を高める「元気」プロジェクト

ブランド力の向上と魅力発信

本市には白山、手取川、日本海の豊かな自然や、市内各地域に伝わる歴史、伝統、文化があり、これらの魅力をさらに磨き高めるとともに、次世代に引き継ぐことが大切です。

そのために、本市の豊かな自然環境を保全・継承し、歴史遺産や伝統文化の保護・継承を図るとともに、白山手取川ジオパーク、白山ユネスコエコパークの活動の推進や地産地消に加え、6次産業化の推進等に取り組み、本市の観光資源のブランド力の向上と魅力発信に積極的に取り組みます。

施策の概要	章-節
● 森林及び里山保全再生活動などの推進	3-2-1
● 史跡公園の整備	4-2-2
● 6次産品のブランド認証の推進	5-1-3
● 文化活動の推進 ● 史跡の整備と活用	6-2-1
● 白山手取川ジオパークの活動の推進 ● 白山ユネスコエコパークの活動の推進 ● 観光拠点のブランド力の向上	6-2-2



